

犬と猫にとって危険な食べ物リスト

種類	代表的な食べ物	含まれている危険な成分	起こりえる症状	補足
ネギ類	玉葱、長ネギ、ニラなど	アリルプロピルジスルファイド	赤血球破壊、胃腸障害、血尿、衰弱、心拍の増加	それぞれ毒性成分の含有量が違うため、危険度は異なります。
チョコレート (カカオ類)	カカオ含有量の高いビターチョコ	テオフロミン	不整脈、心拍の増加、口の渇き、過剰な活動、痙攣、発作、嘔吐など	ミルクチョコレートはカカオ含有量が低いいため、症状は出にくい。
レーズン、ブドウ	レーズン、ブドウを含む食べ物		嘔吐、下痢、腹痛、腎不全	症例は主に犬から報告されています。猫にはまだ未知数なところがあります。
アボカド	アボカドを含む食べ物	ペルジン	嘔吐、下痢を含む胃腸の炎症	ペルジンは果実だけではなく、葉、種子、樹皮にも含まれています。
マカダミアナッツ	マカダミアナッツを含む食べ物		無気力、嘔吐、異常な高熱、筋硬直、ふるえ、心拍の増加	犬のみ報告があがっています。
ガム	キシリトールを含む物	キシリトール	血糖値低下、嘔吐、歩行困難、内出血、肝不全	
ニンニク (ガーリックパウダー・オイルなど)		アリルプロピルジスルファイド	嘔吐、血尿、衰弱、心拍の増加	
アワビ、トリガイ、サザエ、トコフシ			毛の薄い耳に症状が現れやすく、腫れやかゆみが生じる。特に猫がなりやすい。	
スルメ			胃腸障害、元気が無くなるなど	スルメは胃で水分を含み膨張します。10倍以上に膨れる事もあるそうです。
生肉(豚)	豚肉(生)	寄生虫(トキソプラズマ)	体重減少、下痢、目の障害など	犬猫から人間まで感染する危険は同じですが、猫のみ体内でトキソプラズマが完全に成長します。感染しても症状のない猫もあり、若い猫ほど危険が高いとされています。
アルコール	お酒などアルコールを含む食べ物	アルコール	嘔吐、下痢、中枢神経系の抑制、ふるえ、昏睡アシドーシス(意識障害、血圧低下、痙攣、呼吸障害)など	